

KSN 通信 VOL.176

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

本年も、KSN グループ社員一同、皆様にご満足頂けるサービスをご提供できるよう、より一層努力し精進してまいりますので、何卒変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

■ 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

旧年中は格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も更なるサービスの向上に努めて参りますので、より一層のご支援、お引立てを賜りますようお願い申し上げます。

2022年を振り返ってみますと、新型コロナウイルスへの対応が大きく変化し、世界基準を踏まえた上で、日本版の「ウィズ・コロナ」、「アフター・コロナ」へと大きく舵を切り出しました。また、世界経済に目を向けると、ゼロ金利政策を柱とした日本と政策金利の引き上げを柱とした欧米との金利差による大幅な円安基調や、ロシアによるウクライナへの武力侵攻を背景としたエネルギー価格や物価の高騰など、消費や経済を下振れさせるインパクトがございました。一方で、スポーツの祭典である FIFA ワールドカップカタール2022が開催され、日本チームの活躍に勇気づけられたことも記憶に新しいことと存じます。

弊グループ各社におきましては、昨年4月に堺PPE工場が本格稼働を開始し純国産マスク製造が始まりました。また、10月には堺第二工場の許可取得がなされ、私達にとって新たな事業分野であるPET/PP/PE/PSなどのプラスチック由来原料の再資源化事業を開始いたしました。海外におきましては、4月にイギリスにおいてFIT法・RHI法に基づいた20年という長期にわたる電力事業とガス事業が本格的に稼働いたしました。2023年を迎え、グループ各社がその果たすべきミッションと事業のインパクトを十分に理解し、グループ間のシナジー効果を最大限に活用しながら、目指すべき将来や未来、社会に対してあるべき姿を創造し、具体的に実現していくことが重要であると考えています。

本年も、新しい年の始まりであるからこそ「干支」の意味を考え、先人の残した想いに触れることによって気持ち新たに歩みを進めていきたいと思っております。

本年の干支は「癸（みずのと）」、十二支が「卯（う）」、「癸卯（みずのと・う）」です。

十干十二支は「植物が循環する様子を表している」とされており、卯は十二支の4番目、癸は十干の10番目となります。十二支の卯は、もともと「茂」という字が由来とされており、「繁殖する」「増える」、少し拡大解釈して「春が訪れる」、また兎（卯）のように「跳ね上がる」という意味で解釈されています。十干の癸は、十干の最後（10番目）にあたり、「生命の終わりを意味するとともに、次の新たな生命が成長し始める」とされています。本年の「癸卯」は、「これまでの努力が実を結び・花開き、勢いよく成長する」、すなわち「飛躍」や「向上」の年であると考えています。

昨年、新たな事業分野に投資した資産をグループ各社の「ソリューション」へと昇華し、ニューノーマル時代（社会に大きな変化が起こり、変化が起こる前の状態へ戻ることができず、新たな状態が定着すること）において、「常に変化を恐れず・変化を楽しむ」グループとして「飛躍」「向上」していきたいと考えております。

株式会社 関西再資源ネットワーク
代表取締役 福田 裕司

発行元：株式会社関西再資源ネットワーク

〒592-8331

大阪府堺市西区築港新町4丁2番5

TEL：072-320-9001（代表）

FAX：072-320-9004